



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 名

上場会社名 シーキューブ株式会社

コード番号 1936 URL <http://www.c-cube-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 涉

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 平手 一幸

TEL 052-332-8023

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	28,760	24.4	1,420	70.4	1,498	61.8	907	126.6
25年3月期第2四半期	23,124	△1.7	833	△6.6	926	△8.5	400	△25.1

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 1,025百万円 (149.0%) 25年3月期第2四半期 411百万円 (△16.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	33.70	—
25年3月期第2四半期	14.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
26年3月期第2四半期	46,011		29,843		63.5
25年3月期	44,735		29,035		63.6

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 29,226百万円 25年3月期 28,445百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	9.00	14.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期配当金の内訳 普通配当 12円00銭、特別配当 2円00銭

26年3月期配当金の内訳 普通配当 12円00銭、記念配当 2円00銭(創業60周年記念配当)

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	3.0	2,500	△13.8	2,700	△12.2	1,600	△10.5	59.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	27,644,699 株	25年3月期	27,644,699 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	712,288 株	25年3月期	712,122 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	26,932,481 株	25年3月期2Q	26,932,628 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要な事業分野であります情報通信事業分野の内、光アクセスサービスの契約数は平成25年6月末に前年同月と比べ145万件増の2,429万件と微増ながらも増加基調で推移しております。このような状況の中、新たにアクセス系保守業務が量的・面的に増加してきております。

移動通信事業分野では、スマートフォンやタブレットなどモバイル端末の普及によるトラフィックの急増に伴い、各事業者間によるLTEサービスのエリア拡大競争が激しさを増してきております。また、不感知対策やトラフィックの増大に対応して、公衆無線LAN「Wi-Fi（ワイファイ）」基地局の増設が進み、駅や空港など公共施設にとどまらず、飲食店などでもWi-Fiサービスを受けられる場所が拡充され、利用者はいつでもどこでも大容量のデータ通信が可能となりつつあります。

情報サービス事業においては、クラウドサービスの裾野が更に拡大を見せるとともに、光アクセスサービス、移動通信、Wi-Fiと一体となって、医療や介護、農業などといった幅広い分野に浸透し、防災やBCPなど自治体や企業運営を支える有力情報インフラとしての地位を確立してきております。また、自治体や企業はサービスの付加価値を高め優位性を確保するため、Wi-Fiとクラウドが連携したサービスの提供も拡大してきております。

当社グループにおきましては、本年4月1日より新たに中期経営計画「SGK2015」を策定し、「筋肉質な企業体質を礎に、新たな成長へ挑戦し、すごい会社を目指す」を基本方針とし、①既存主力事業の更なる円滑推進、②第1の成長戦略として既存事業の量的・面的拡大、③第2の成長戦略として新規事業の開拓に積極的に取り組んでまいりました。当上半期においては、アクセス系保守業務の更なる受注拡大に向け、本年4月に、株式会社テレコムリンクを当社グループの一員とし、8月には静岡東部エリアの新拠点ビル建設に着手するなど、愛知県、静岡県エリアの保守業務の体制強化を進めてまいりました。また、首都圏・関西圏及び東北エリアの業務拡大に向け、本年6月には日立電線株式会社(現 日立金属株式会社)が展開する移動体基地局工事部門を譲り受け、収益基盤の強化を図りました。更には、本年4月に当社グループの収益力の強化と成長ビジネスの創出を図るため、NTT営業本部内にソリューション事業部を新設し、当社グループ全体の連携強化や他企業とのアライアンスの積極展開に向け、一層の事業領域の拡大を図ることといたしました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高319億13百万円(前年同四半期比121.6%)、売上高287億60百万円(前年同四半期比124.4%)、経常利益につきましては、14億98百万円(前年同四半期比161.8%)、四半期純利益は9億7百万円(前年同四半期比226.6%)と増収増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 通信建設事業

受注高は262億84百万円(前年同四半期比122.2%)、売上高は231億31百万円(前年同四半期比125.9%)となり、セグメント利益(営業利益)は14億8百万円(前年同四半期比164.6%)となりました。

#### ② 情報サービス事業

売上高は56億28百万円(前年同四半期比118.6%)となり、セグメント利益(営業利益)は2百万円(前年同四半期 セグメント損失(営業損失)33百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債、純資産の状況)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は460億11百万円（前連結会計年度末447億35百万円）となりました。その増加の主な要因は、未成工事支出金の増加によるものであります。負債は161億68百万円（前連結会計年度末157億円）となりました。その増加の主な要因は、短期借入金の増加によるものであります。純資産は298億43百万円（前連結会計年度末290億35百万円）となりました。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、64百万円増加し、43億64百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は13億97百万円（前年同四半期：60百万円資金減少）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少20億66百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加9億49百万円、仕入債務の減少9億82百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は21億24百万円（前年同四半期：5億55百万円資金減少）となりました。これは、主に事業譲受による支出13億85百万円、有形固定資産の取得による支出7億38百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は7億91百万円（前年同四半期：4億76百万円資金減少）となりました。これは、主に短期借入金の純増加額12億4百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	4,438	4,516
受取手形・完成工事未収入金等	16,963	15,086
未成工事支出金	3,003	4,293
商品	108	725
仕掛品	57	129
材料貯蔵品	274	303
繰延税金資産	484	532
その他	682	823
貸倒引当金	△17	△15
流動資産合計	25,996	26,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,355	4,291
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,361	1,457
土地	8,028	8,370
建設仮勘定	18	77
その他（純額）	70	76
有形固定資産合計	13,834	14,273
無形固定資産		
投資その他の資産	378	544
投資有価証券	2,252	2,484
繰延税金資産	1,512	1,500
その他	776	813
貸倒引当金	△15	△2
投資その他の資産合計	4,526	4,796
固定資産合計	18,738	19,613
資産合計	44,735	46,011

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,018	5,036
短期借入金	1,780	3,115
1年内返済予定の長期借入金	110	60
リース債務	80	76
未払法人税等	1,073	710
未成工事受入金	49	330
賞与引当金	469	751
役員賞与引当金	73	63
工事損失引当金	68	68
その他	1,814	1,569
流動負債合計	11,537	11,782
固定負債		
長期借入金	900	1,049
リース債務	124	115
再評価に係る繰延税金負債	428	428
退職給付引当金	2,369	2,540
役員退職慰労引当金	161	145
長期未払金	124	60
その他	54	44
固定負債合計	4,162	4,385
負債合計	15,700	16,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,104	4,104
資本剰余金	3,801	3,801
利益剰余金	22,060	22,729
自己株式	△135	△135
株主資本合計	29,831	30,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256	369
土地再評価差額金	△1,642	△1,642
その他の包括利益累計額合計	△1,385	△1,272
少数株主持分	589	616
純資産合計	29,035	29,843
負債純資産合計	44,735	46,011



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	18,377	23,131
商品売上高	4,747	5,628
売上高合計	23,124	28,760
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	16,415	20,647
商品売上原価	3,851	4,612
売上原価合計	20,267	25,259
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	1,961	2,484
商品売上総利益	895	1,016
売上総利益合計	2,857	3,500
<b>販売費及び一般管理費</b>	2,023	2,080
営業利益	833	1,420
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	32	33
受取保険金	10	19
受取賃貸料	14	28
その他	48	30
営業外収益合計	105	111
<b>営業外費用</b>		
支払利息	7	10
賃貸費用	0	15
その他	4	7
営業外費用合計	12	33
経常利益	926	1,498
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	22	12
投資有価証券売却益	0	31
負ののれん発生益	18	11
その他	0	1
特別利益合計	41	56
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	57	7
投資有価証券評価損	113	—
その他	3	1
特別損失合計	174	8
税金等調整前四半期純利益	793	1,546
法人税、住民税及び事業税	683	743
法人税等調整額	△284	△110
法人税等合計	399	632
少数株主損益調整前四半期純利益	394	913
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6	5
四半期純利益	400	907

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	394	913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	112
その他の包括利益合計	17	112
四半期包括利益	411	1,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419	1,020
少数株主に係る四半期包括利益	△7	5

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	793	1,546
のれん償却額	—	17
減価償却費及びその他の償却費	547	580
投資有価証券評価損益(△は益)	113	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	△9
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△6	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	247	171
受取利息及び受取配当金	△32	△33
支払利息	7	10
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△31
売上債権の増減額(△は増加)	1,851	2,066
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,572	△949
仕入債務の増減額(△は減少)	△952	△982
その他の負債の増減額(△は減少)	△545	△568
その他	9	651
小計	440	2,470
利息及び配当金の受取額	32	33
利息の支払額	△7	△10
法人税等の支払額	△526	△1,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	△60	1,397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△133	△16
定期預金の払戻による収入	603	3
有形固定資産の取得による支出	△956	△738
有形固定資産の売却による収入	68	14
投資有価証券の売却による収入	0	35
事業譲受による支出	—	△1,385
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△37	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	48
その他	△101	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△555	△2,124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△170	1,204
長期借入れによる収入	750	20
長期借入金の返済による支出	△816	△139
配当金の支払額	△188	△242
少数株主への配当金の支払額	△9	△7
その他	△42	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△476	791
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,092	64
現金及び現金同等物の期首残高	6,659	4,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,567	4,364

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信建設事業	情報サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,377	4,747	23,124	—	23,124
セグメント間の 内部売上高又は振替高	126	329	455	△455	—
計	18,503	5,077	23,580	△455	23,124
セグメント利益又は損失(△)	855	△33	822	10	833

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信建設事業	情報サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,131	5,628	28,760	—	28,760
セグメント間の 内部売上高又は振替高	127	314	442	△442	—
計	23,259	5,942	29,202	△442	28,760
セグメント利益	1,408	2	1,410	9	1,420

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。